第8回 日本成長戦略会議
調査報告：政策・財政・知財の深層

2027年を見据えた政府投資のメカニズムと企業戦略への直結要因

2026年10月度 エグゼクティブ・ブリーフィング

DASHBOARD_REF: JGS-8th-Exec

Gemini Notebook

政策パラダイムの転換：単年度補正から「5年間の集中投資」へ

実行計画



「日本成長戦略実行計画」策定。2027年度からの5年間を「集中投資期間」とし、予算額と目標を年末までに確定。

財政スキーム



「つなぎ国債」と「特別会計」の導入。経済安全保障分野等を別枠管理し、複数年度の財源コミットを実現。

AX推進



年末までにAX（AIトランスフォーメーション）の具体像、社会実装アクションプラン、規制改革の3本柱を策定。



【最大の論点】予見可能性の大幅な向上（強み）と引き換えに、**「償還財源の不透明性」**および**「財政規律の実効性」**という**構造的リスク**を抱える設計となっている。

Gemini Notebook

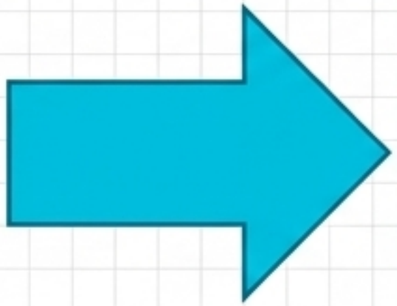
Strategic Dashboard

マクロ環境の現状認識：「成長の好循環」への分岐点

3年連続の5%台
賃上げ水準

128兆円（2025年度
民間企業設備投資額の
見通し・過去最高水準）

デフレ・コストカット
型経済



成長型経済・
責任ある積極財政

各国が産業政策を競う中（米CHIPS法、EUドラギ・レポート等）、
日本も潜在成長率引き上げに向けた不可逆的な投資フェーズへ移行する。

Gemini Notebook

Strategic Dashboard

戦略的フォーカス：実行計画における3つの投資ターゲット類型

足元の収益源

既存の強みを最大化し、直近の経済成長を牽引する分野。

今後の稼ぎ頭

次世代の市場を獲得し、中長期的な輸出・収益基盤となる革新技術。

経済安全保障の強化

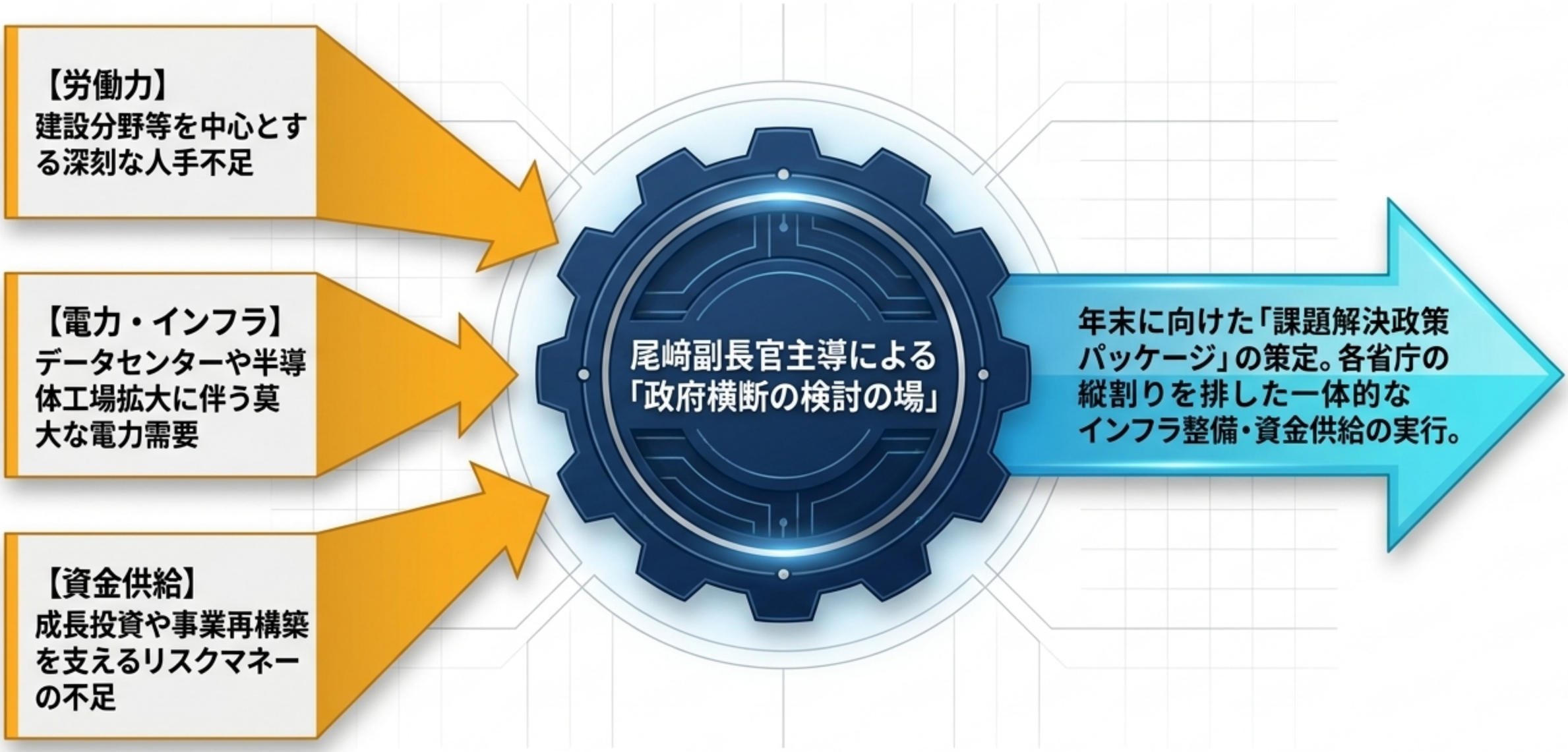
サプライチェーンの強靭化など、国家の自律性に直結する不可欠な分野。

17の戦略分野・8つの横断課題（対象ユニバース）

年末までに「投資事業計画」として、民間中心の国内投資額と複数年度の予算額・効果が明記される。

Gemini Notebook

物理的制約の解消：投資を阻害する構造的ボトルネックへの対処

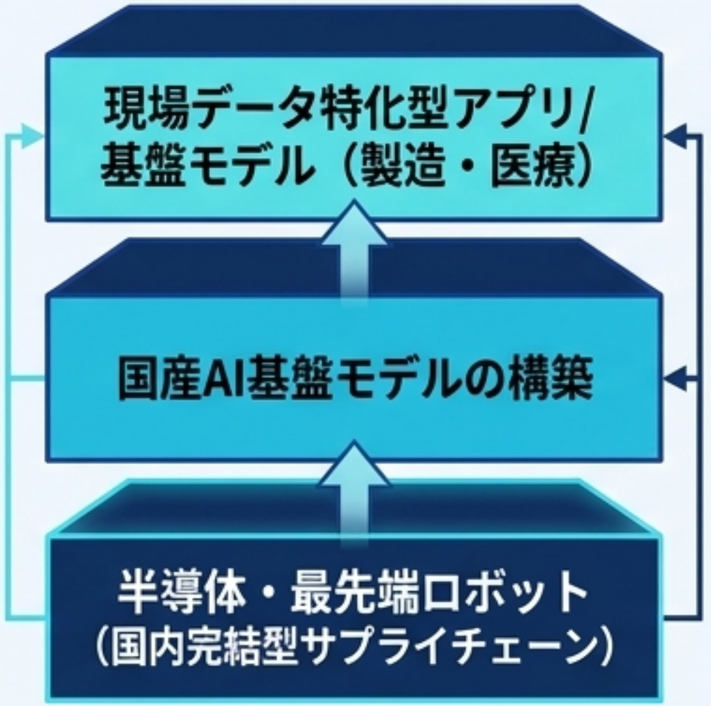


Gemini Notebook

AX（AIトランスフォーメーション）：成長の加速装置と社会実装



松尾委員の提言構造



目標：国内総生産（GDP）を最大1.5%押し上げ

Gemini Notebook

財政メカニズムの解剖：「特別会計」と「つなぎ国債」の構造

【資金調達】
「つなぎ国債」の発行による前倒しの財源確保

→

【資金プール】
「特別会計」による別枠管理
（財政指標からの除外懸念）

→

【投資実行】
経済安全保障上とくに重要な分野への複数年度投資

償還財源（追加的な税外収入）。
※骨太方針に明記されたものの、
外為特会剰余金や政府保有株売却など
具体的な中身は現時点で白紙。
実質的な赤字国債化のリスク。

Gemini Notebook

経済安全保障投資のハードル：特別会計アクセスの3要件

単なる成長性ではなく、以下の3要件を厳格に満たし、検証可能な「勝ち筋」を示すことが必須となる。



【自律性 (Autonomy)】
他国に依存せず、国内において事業やサプライチェーンを完結・維持できる能力。

【優位性 (Superiority)】
グローバル市場において代替困難な高い技術力や競争力を持つこと。

【不可欠性 (Indispensability)】
対象となる製品や技術が、国民生活や経済活動の維持に絶対に欠かせない性質。

【勝ち筋の証明】
収益性、政策効果、および市場の失敗に対する「政府支援の追加性」の論理的立証。

Gemini Notebook

市場・メディアの反応：透明性への評価と高まる財政懸念の二面性

【メディア・海外の評価】

- **焦点**：主要各社は「AI普及の行動計画」を大きく報道。
- **透明性の向上**：Bloombergは、370兆円構想に対する市場の疑問に対し、最初の5年間の明細化が懸念払拭に繋がると前向きに評価。

【エコノミスト・市場のリスク視点】

- **規律の弛緩**：12兆円超（27年度概算要求）の青天井化リスク。別枠管理によるPBや債務残高対GDP比からの除外懸念。
- **金利への圧力**：つなぎ国債の発行は実質的な国債増発であり、クラウディングアウトや長期金利上昇（一時2.850%到達）のトリガーとなるリスク。

Gemini Notebook

政策評価マトリクス：構造的強み vs. 財政・システム上のリスク

	【強み・新規性】	【リスク・懸念】
予算体系	複数年度の財源コミットによる民間投資の予見可能性の大幅向上。	要求上限なし（事項要求容認）と特別会計の組み合わせによる予算規模の肥大化。
対象選定	「3つの類型」と「経済安保3要件」による、検証可能な選定基準の明文化。	官民投資の誘発倍率の算定根拠と、失敗時の見直し（サンセット条項等）の不在。
実行担保	労働力・電力などの物理的ボトルネックに対する政府横断的な正面対応。	「追加的な税外収入」という償還財源の不透明性と、経済財政諮問会議とのガバナンス分担。

Gemini Notebook

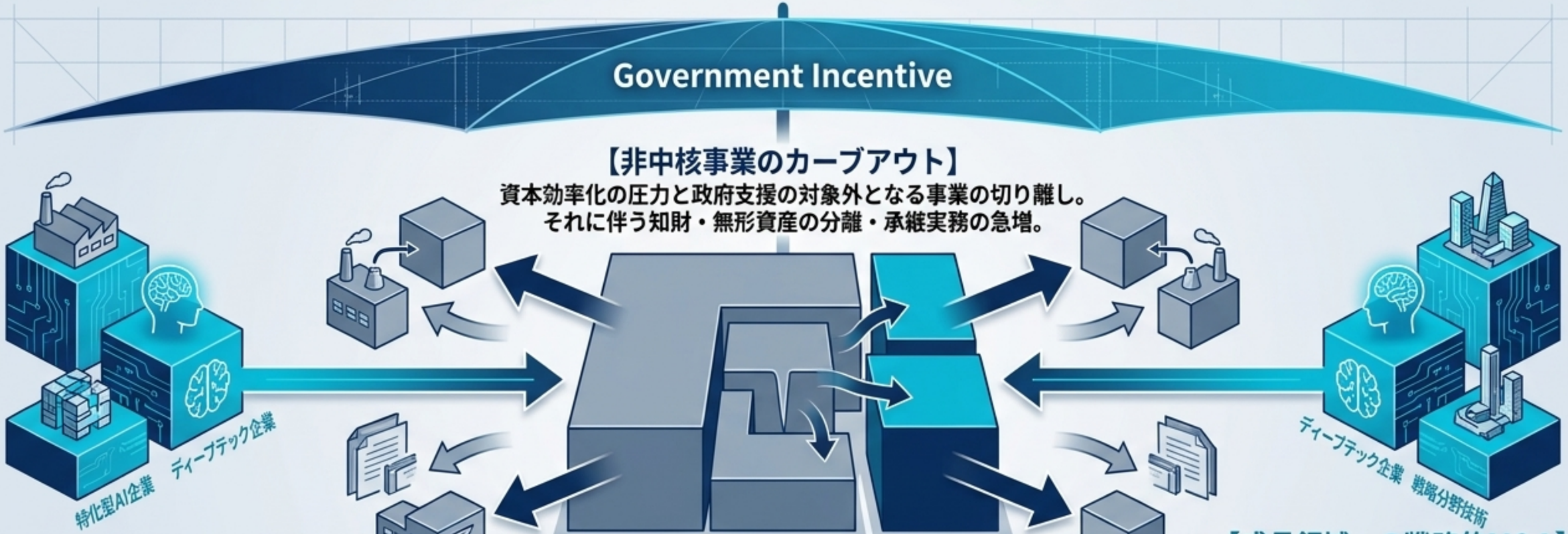
知財・戦略へのトランスレーション：政策が突きつける企業アクション

【政策トリガー】	【企業への影響】	【知財アクション】
AX規制改革の原則策定（著作権・データ利用）	AI学習・生成における法的リスクと権利帰属の再定義	自社データ・コンテンツの強気なライセンス戦略構築と、データ提供契約の見直し
特化型基盤モデルへの大規模公的投資	製造・医療等の現場データの価値急騰と共同開発の増加	現場ノウハウの厳格な営業秘密管理、日本版バイ・ドール適用を睨んだ権利確保
経済安保特会「優位性・不可欠性」の厳格審査	政府資金獲得における技術的優位性の客観的証明要請	特許ポートフォリオを活用した「代替困難性」の論証と、勝ちストーリーへの知財の組み込み

Gemini Notebook

事業ポートフォリオ転換：成長領域への資本シフトとM&A

赤澤大臣の指示に基づく「経営資源を成長領域へ移す事業ポートフォリオ転換」の促進策。



【非中核事業のカーブアウト】

資本効率化の圧力と政府支援の対象外となる事業の切り離し。
それに伴う知財・無形資産の分離・承継実務の急増。

【非中核事業のカーブアウト】

資本効率化の圧力と政府支援の対象外となる事業の切り離し。
それに伴う知財・無形資産の分離・承継実務の急増。

【成長領域への戦略的M&A】

成長領域（17の戦略分野）への資源集中。
政府の特別会計資金を呼び水にした、特化型AIやディープテック企業の買収合戦の激化。

政策の恩恵を受けるためには、企業自身が「選択と集中」の痛みを伴う再編を実行し、体制を身軽にすることが前提条件となる。

Gemini Notebook

ポリシー・ロードマップ：2026年末に向けた5つのモニタリング指標

秋：尾崎副長官による建設人手不足等・検討の場発足

12月：実行計画、AX具体像・規制改革アクションプランの策定

2027年通常国会：特別会計・つなぎ国債の根拠法案提出（推測）

2027年4月：集中投資期間（5カ年）の開始

年末に見るべき5つの試金石

1. 特別会計の「規模」と、つなぎ国債の「償還財源」の法定化の有無
2. 財政規律指標（PB等）からの「別枠管理・除外」の正式決定
3. 370兆円構想における「官民投資の具体的な内訳」と誘発倍率
4. 投資失敗時のブレーキとなる「KPI・中間評価・サンセット条項」の厳格さ
5. AXにおける「著作権・データ利用・責任分配」の具体的なルールメイク

Gemini Notebook